レポート



## 「はやぶさ」帰還カプセル特別公開

6月13日に宇宙から帰還した小惑 星探査機「はやぶさ」、その帰還カプセルが関東で公開され大きな話題となり ましたが、ついに大阪でも9月17日~ 21日に西日本で先駆けて特別公開され ました。今回の特別公開は非常に多くの 来場者が予想されることから、あらかじ め公開方法を十分検討した結果、近鉄 百貨店阿倍野店を会場にして開催する ことにいたしました。



\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

カプセル公開には長い行列ができました

今回展示されたのは、地球帰還カプ

セルの骨格部分である「インスツルメントモジュール」、カプセルの頭脳ともいうべき「搭載電子機器部」、カプセルをゆっくり着地させるための「パラシュート」で、いずれも実際に宇宙から帰還した実物3点です。また地上テスト用に作成された、実際に「はやぶさ」に搭載されたカプセルと全く同じカプセルである「エンジニアリングモデル」も展示されました(撮影禁止につき、写真は掲載できません。ごめんなさい)。

カプセル公開初日から多くのお客さんが行列をつくり、期間中には合計で3万4千人ものお客さんが訪れました。実際に宇宙で7年間60億kmの壮大な旅を行ってきた実物のもつ魅力は格別でした。

会場には他にも「はやぶさ」が大気圏に突入した時の写真の展示コーナーや、「はやぶさ」が帰還した翌朝の新聞の一面記事も展示され、お客さんが足を止めて見入っていました。会場に設置された「はやぶさ」寄せ書きコーナーは、あっという間にボードがみなさんの熱いメッセージでいっぱいになりました。

また同時に科学館でも展示場の4階で「おかえり! 『はやぶさ』ミニ企画展」を行

っています。今回の企画展のために新たに入手した、はやぶさの外部を覆っていたサーマルブランケットや、カプセルに搭載されていたものと同型のバッテリー、小惑星イトカワと同じ種類の石などが展示されています。

こちらは11月28日(日)まで開催していますので、まだご覧になっていない方はぜひ科学館までお越しください。

江越 航(科学館学芸員)



なぜか科学館にもカプセルが